

## 第2回 8月 東大本番レベル模試 優秀答案

### 日本史 第4問

初議会の頃は超然主義や富国強兵策を唱えた政府と減税や民力休養を掲げた民党で対立があり、やがて政府の中で国会と協調し、政府系の政党を作り政局を安定させる事を考えて伊藤博文と、政党に影響力が政府に出ることを嫌った山県有朋とが対立した。その後伊藤が作った憲政友会連身の西園寺公望と陸軍出身で山県派の桂太郎が交互に首相を務める桂园時代を迎え、政局が安定した。